

令和7年度 第1回東郷町地域包括支援センター運営協議会会議議事録

日 時	令和7年9月3日（水）午後2時から午後3時30分まで
場 所	役場3階 政策審議会室
出席者	委員（敬称略、順不同） 制野 司 学識経験者 石川 洋子 被保険者代表 松山 陽二 介護サービス事業者代表 野々山 郁 医療関係者 磯村 敏文 福祉関係者 三宅 智 医療関係者 古橋 完美 保健関係者
欠席者	住田 敦子
傍聴者	なし
事務局	福祉こども部長、高齢者支援課3名 東郷町北部地域包括支援センター1名 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑1名
議 題	1 あいさつ 2 報告事項 (1) 東郷町地域包括支援センター運営協議会設置要綱の改正について 【資料1】 (2) 令和6年度東郷町北部地域包括支援センター事業報告について 【資料2-1～2-10】 (3) 令和6年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業報告について 【資料3-1～3-9】 (4) 東郷町北部地域包括支援センター令和6年度決算及び令和7年度予算について 【資料4-1～4-2】 (5) 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑令和6年度決算及び令和7年度予算について 【資料5-1～5-2】 3 議題 (1) 令和6年度北部地域包括支援センター公正・中立性評価結果について 【資料6-1～6-5】 (2) 令和6年度南部地域包括支援センター東郷苑公正・中立性評価結果について 【資料7-1～7-5】
配布資料	次第 資料1 東郷町地域包括支援センター運営協議会設置要綱の改正について 資料2 令和6年度東郷町北部地域包括支援センター事業報告（資料2-1～2-10）

資料3 令和6年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業報告（資料3-1～3-9）
資料4 東郷町北部地域包括支援センター令和6年度 決算書及び令和7年度予算書（資料4-1～4-2）
資料5 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑令和6年度決算書及び令和7年度予算書（資料5-1～5-2）
資料6 令和6年度 北部地域包括支援センター 公正・中立性評価結果（資料6-1～6-5）
資料7 令和6年度南部地域包括支援センター東郷苑 公正・中立性評価結果（資料7-1～7-5）
参考資料 東郷町地域包括支援センターにおける 公正・中立性評価基準について
委員名簿
令和7年度東郷町地域包括支援センター運営方針

1 あいさつ

2 報告事項

(1) 東郷町地域包括支援センター運営協議会設置要綱の改正について

事務局	資料説明。資料1
会長	ありがとうございます。ご質問等あるか。 無ければ、承認ということでよろしく願います。次の報告事項へ。

(2) 令和6年度東郷町北部地域包括支援センター事業報告について

(3) 令和6年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業報告について

各包括	資料説明。資料2-1～2-10、資料3-1～3-9
会長	ありがとうございます。ただ今の説明で、なにか質問等あるか。
委員	南部も北部も、「民生委員との連携」を言っているが、民生委員もそう思っている。 この10月にどうしていくか話し合っている。お元気訪問行ってもなかなか会ってもらえないが、介護のケアマネさんがいると会ってくれたりする。たまたまかかもしれないが、お互いの情報があればやりやすいと感じている。民生委員も知りたいと考えているので、またよろしく願います。助かると思う。住民にとってもより良い方向だと思う。
会長	私からもひとつ。男性介護者について、男女分けるような時代ではないが、男性が介護するという意識が低い、男性介護者の集いをやりながら包括としての課題があれば。
南部包括	男性介護者の集いが今年の1月でなくなった。なぜかという、男性介護者の奥様が亡くなられて独居高齢者になった。その後、団体の名前や活動が変わり、ポッチャやウォーキングする集まりになった。自分たちが楽しみましょうという会になったため。もちろん包括も関わってはいる。

北部包括	北部も一緒に関わっている。
会長	現状、東郷町にはそういう男性介護者がいないということか。
南部包括	そういうわけではない。男性介護者はいる。認知症カフェでも認知症の奥様と一緒にいらっしゃる方もいる。地域の方とおしゃべりして気分転換をすることもある。
会長	では、男性介護者の会だけで情報を得るということではないということか。他に意見はないか。せっかくの機会なのでご意見だけでも結構である。
委員	基本方針で南部が高齢化率が 20.4%で北部は「高い」という表現であるが、具体的な数字を教えてください。
包括	北部全域で 25%くらい。南部が 20.4%で町全体で 22%くらい。
制野会長	他にないか。では、改めて何かあれば戻ってでもよいので、次に進める。

(4) 東郷町北部地域包括支援センター令和 6 年度決算及び令和 7 年度予算について

(5) 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑令和 6 年度決算及び令和 7 年度予算について

各包括	資料説明。資料 4-1~4-2、資料 5-1~5-2
会長	ありがとうございます。何かご質問等はあるか。 私の方から予算は令和 7 年度予算になると思うが、先ほどの職員数、人の問題が出てきたが、南部の方はケアマネの補充がこの 4 月で補っているということではよかったか。
南部包括	補充できた。
会長	では、今年度の予算どおり執行できるということで良かったか。
南部包括	そのとおり。
会長	北部も社会福祉士について、この 4 月から整っているということか。
北部包括	はい、今は正規職員が 4 名である。
会長	では、予算どおりの人件費で執行されているということか。ケアマネはかねがねなかなか採用できないと聞いているが、どうやって採用できたのか。
南部包括	民間の求人広告などで採用できた。
会長	採用できたのか。私も前職が福祉法人であるため、なかなか職員を雇用するのが大変だと聞いていたため、質問した。 他によろしいか。ぜひとも予算どおりの執行をお願いします。

3 議題

(1) 令和 6 年度北部地域包括支援センター公正・中立性評価結果について

(2) 令和 6 年度南部地域包括支援センター東郷苑公正・中立性評価結果について

各包括	資料説明。資料 6-1~6-5、資料 7-1~7-5
会長	ありがとうございました。何かご質問等あるか。 私から確認で、北部の昨年度の数字で、シルバー人材センターさんが 0 だったものが 12 件だったということだが、なぜこのような間違いが起こったのか。
事務局	システム上自動で集計される事業所もあるが、シルバー人材センターは手で

	集計しなければならないということで、集計方法が異なっており、シルバー人材センターを集計から漏らしていたということである。
会長	当時の担当者の集計ミスということか。これが0だったら、占有率が変わってきますよね。90とか。その時の数字ではなかったと思うが。
事務局	そのとおり。65、70近い数字だったと思う。その時もヒアリングした際には、職員の公正中立性の考え方が至っていなかった可能性があるという話があったが、こちらも結局、町内5か所以下のため、「適」としていた事案である。
会長	分かった。確認した。ありがとうございます。 もう1点、資料7-2ヘルパーハウスレオンと社協が令和5年度の時は占有率の%が入っていて、今年度0件で入っていないが、今回は正当な理由として評価していますが、現在機能していないということか。
両包括	やっているが、満員ということで断られる。
会長	では、事業所が少数というより受け入れ先が少数ということか。
事務局	やってはいるが、断られることが多いという回答をいただいている。 そもそも5か所以下ということで、正当な理由として「適」とさせていた いておるが、それでなくても受け入れができていないということかと。
会長	もみの木さんに200%くらい受け入れてもらうしかない。
委員	緩和型というのは、単価がすごく低いということで、これだけの差が出ているの かもしれない。うちも普通の訪問介護の仕事もあるが、他のところが受け入れ が少ないので、受け入れているという状況。
会長	受け入れて大丈夫なのか。
委員	東郷町のため。
委員	一部の事業所が定員いっぱい受け入れられないということで、この統計自 体が利用件数を取っていて、それを占有率という形で出すこと自体意味がない のではないかと。受け入れられないところは新規0%で、受け入れることができ るところや回転が速いところに利用率を振って、それを見て適・不適とすること 自体、この統計自体意味がないのではないかと。 国からやってくれと言われていたらやらざるを得ないが、実態を反映して いない統計について一生懸命ここで議論しているのはまったくおかしいこと。 今、数字だけの理論で考えたが、違う側面から見ていかなければならない値 なのではないかと。
会長	おっしゃる通りだと思う。もちろんこれは誰が悪いとかそういうことを言 いたいのではなくて、でよいか。
委員	もちろん。数字が何を反映しているかを考えなければならない。事業所とし て機能していないところがカウントされないで、一生懸命やっている事業所が 責められてもかわいそう。
会長	確かに私たちが判断するにふさわしい意味のある数字に変えていかなければ ならない。計算せざるを得ないということであれば、事前に私が確認して説明

	<p>を受けて、それを踏まえて報告するような形の方が良ければそのようにさせてもらう。</p> <p>確かにさらっと聞いてしまうと疑問がわくかもしれない。正直パッと見て去年は数字が入っていて今年には数字が入っていない時点でも疑問を感じるかもしれない。</p> <p>事前に私の方で確認できることは今後、確認していきたい。</p> <p>ただ数字は0件であれば0とどうしても書かざるを得ない場合もあるので、それは私の方で確認していくので。</p> <p>ただ、現時点では基本的に数字がまとまっていて基準が守られていると判断したいと思うので、ここについては皆さんに承認いただければと思う。</p>
会長	最後の議事となるが、その他最後ご意見ご質問があればお願いします。
委員	<p>2つほど。</p> <p>この会を超える話かもしれないが、認知症についていろいろな啓蒙を是非していただきたいと考えている。認知症を持っている方が困っているのではなく、認知症のご家族が本当に困っている。その方たちにどのように配慮できるかがポイントかと思うが、そういう人たちに一番前線に関わっておられる。そこで少し気になるのが、南部包括が出している「ひとり歩きできる地域」で、ひとり歩きできるのは本人が主体になってひとり歩きしたいわけではない。それがひとり歩きだとわからないで行ってしまう。ひとり歩きになったとしても家族が安心していただけるかどうか、認知症でひとり歩きをしている最中の方は病識がまったくない。そこがどうなのかということ。</p> <p>なぜこのようなことを今言うかということ、以前の東郷町の広報の表紙。あれはたくさん意見が来なかったか？</p> <p>何かで包括が関わって一言言うということはできなかったのか。「安心して認知症になれる町」という表現について、誰がどこかで止めることはなかったのか。</p>
事務局	<p>今年のテーマを決めた経緯としては、認知症施策検討会という会を包括と認知症地域支援推進員、認知症の関係者が集まって毎月1回開催し、その中で色々出た意見の中で、「安心して認知症になれるまち」が良いということになった。</p> <p>それは、今年ちょうど認知症当事者の丹野さんが講会で見えるということ、丹野さんがよくこういった言葉が使われていた。今考えると丹野さんが本人だったから言えるスローガンだったかもしれないという反省があるかもしれない。そういう提案があって「認知症になっても安心して暮らせるまち」を、さらに突き詰めると「安心して認知症になれるまち」とさらに上の理念として丹野さんが言われていたので、安易に決めてしまった節がある。</p> <p>やはり住民の方からもお言葉をいただいているという状況である。</p> <p>愛知県の認知症希望大使の近藤さんともお話しする機会があったが、その言葉自体はやはり認知症当事者であれば言える言葉だということだった。</p>

	<p>主語がやはり町としてのスローガンに出すにはやはり不適切なんじゃないかというところを言われ、ちょっと考えが浅かったかなというところで反省をしているところである。</p>
委員	<p>どこの世界でもある話だが、トップでコミュニケーションとして発する方の熱が高い、どこか尖っているところがある。やはり配慮が必要だったかなと思う。</p> <p>例えば「安心してがんになってください」みたいなことを書いてあったら、がんサバイバーとかはどう思うか、がんサバイバーの人は良いかもしれないが、ついていく命の周りにいる人はどう思うのかということ。配慮がいる。「できる」という表現はなにかひょっとしたら感化されているのではないかな。そこだけでなくそれ以外の方面にも配慮がいるのではないかな。</p> <p>これを見た瞬間うちのスタッフが全員「これはないんじゃないか」と話になった。</p>
会長	<p>ありがとうございます。私も実は会議が始まる前にこのことに触れて話すかどうか考えたが、スローガンはすでに出てしまっているものであったため、委員の皆さんも認識していると思い、あえてここで話さないということで、隠ぺいするつもりはないが、ここでは委員の皆さんもそのことを認識しているだろうということ。そういう気持ちを持っている方もいるかと。</p> <p>ただ、私も少し驚いた。話が出てしまったのであえて言うが、娘から「お父さんが東郷町で委員をやっているこんなスローガン認めたのか。」と言われてしまった。</p> <p>確かに先ほど尖ったという言葉もあったが、認知症の専門の方がその言葉を発すると「なるほど」と感じることもあるが、東郷町の中でも認知症の理解が上から下までいったらその言葉を理解できる人もいれば、理解が足りない人もいると思えば、確かに勇気のある言葉を使ったなと思うか、これはちょっとないなと思うという方もいる。</p> <p>私が会議の会長をやっているながら、今日はその話はもうやめましょうということにして申し訳ない。</p> <p>くれぐれも今月は認知症月間であることは共有したいと思う。</p>
委員	<p>もう1点、完全な事例から出てきたことだが、包括のサービスの中で、最近、圧迫骨折を起こしてから1、2か月間、数週間の方もいたが、いきなり介護の契約書を持ってくるというケースがあった。</p> <p>ケアマネジャーからの問い合わせがあるわけでもなく、いきなり利用施設からの訪問看護指示書が送られてきた。その方は急性期であるにもかかわらず本人も知らない間にそういうことを家族で進めてうちの病院に訪問看護指示書が送られてきた。</p> <p>急性期なのにこんなことやる段階ではないのにこれはどういうことですかと聞いたら、契約が済んでおり、それで利用すると決まっているという話だった。</p>

そうなる、今の介護の分野における領域、お話が来てから、じゃあそれを全部受けますよということなのか、それは急性期の医療の段階だから、まだちょっとやめてくれということを超えてくるような話になってくると、こちらもなかなか把握しづらい。

そういったことがここ3か月ぐらい前に2件立て続けにあって、しかも同じ訪問看護ステーションでした。

ケアマネジャーと連絡とりながらやったが、片方は「なんのこと？」となっていた。

具体的には分からないが、そういうふうになってくると、介護についてどこまでやれるかという話と、医療の方とシームレスに繋がれば良いが、急性期の医療をやっているうえで介護にごそっと移すというのはということであれば、もうそれはちょっと違うかと思う。

例えば、圧迫骨折したら医療を受けていたとして、それを訪問看護にしますとなったらあとは全て訪問看護にして受診もできないということになる。受診を促していく流れの方が一番いいのではないかという話をしている中で、また一人、急性期でない方だが、デイサービスにいきなり見学に行かされたという方がいた。

医療が何をやっているかということの連携が少し希薄なんだろうと思う。そのところはちょっと大事にしていきたいと思う。

うちの病院だけでなく、急性期疾患がある方について、どれだけのところで今後やっていっていいのか、ちゃんとした治療が必要なのかということも密に連携が必要。

他市町だと連絡を入れるシステムがある。他市町の方から連絡があり、こういう風なサービスを希望されているが、それについてどうですかと一報が入ってきたり、その人を登録して連絡するコミュニケーションツールがあったりする。そういったことができるようになれば急性期と慢性期の間のかけはしみたいなことができればいいのではないか。

何が必要なのか。何のサービスが必要なのかというところをやり取りできればシームレスに何が必要なのかははっきりできればいいのではないか。

ほかのところはどういう風にやっているのかというのがあると思うので、かけはしになってぜひ相談いただいた方がいいのではないか。

足腰弱ってきてねという慢性期な方ならいいが、急性期の人で困ったという方がすぐに認定を受ける方がすごく多い。

果たして本当にそれがいいのか。「それはちょっと待ってね」というのもひとつなのではないか。いきなり骨折の翌週に意見書を求められてきたりすることが非常に多い。そこはひとつ検討かなと思う。

会長	今の意見で包括から何かあるか。
北部包括	やはり家族の相談や病院からの相談ですぐに新規申請につなげようという相

	<p>談も多いし、私たちも情報が少ない中でどうしてもその通りにしてしまって新規申請をしてしまって主治医を聞いてそのまま書いてしまうことも多いので、今話を聞いて先生方の医療の事情を考えていなかったと反省した。相談を受けたらすぐに申請は考え直そうと思う。</p>
委員	<p>包括に窓口があることは大切だが、医療に対して何か窓口があれば。いちいち聞くのは面倒であればシステムを作ってしまうと「こういう人がいますよ」という風でどうですかと患者の情報をやり取りして。こういったこともひとつお願いしたい。</p> <p>数年見てきても慢性的にリハビリしている方もいるが、それが介護が入るとなると通院出来なくなる。そういうことを知っているケアマネジャーもいるが、家族はもちろん知らない。手すりつけるとなると、医療のリハビリがストップする。これで終わりですとなるとそんなこと知らないという人もいます。やっぱりやめますという方もいる。それで病院のリハビリを辞めますという人もいます。</p>
会長	<p>介護と医療の連携が大切である。情報の共有の仕方が正しいものとなるとよい。</p>

3 その他

会長	<p>他によろしいか。</p> <p>議事の方は以上となる。遡っても意見はないということであるため、本日の議題は以上とさせていただきます。</p>
事務局	<p>次回の会議は、令和8年2月ごろを予定している。改めて開催通知する。議題としては、令和7年度地域包括支援センターの事業評価の結果報告と、令和8年度の地域包括支援センター運営方針案や事業計画案などをご提示できればと思っている。よろしく願います。</p> <p>それでは、これをもちまして、令和7年度第1回東郷町地域包括支援センター運営協議会を終了する。</p> <p>長時間のご審議ありがとうございました。</p>

以上